

「脳卒中治療の連携と障害予防に関する研究」への協力に関する同意書

岩手医科大学付属病院長 鈴木 一幸 殿

主任研究者 小川 彰 殿

私は、当該研究の目的、内容、安全性および危険性等について、説明文書に基づき説明しました。

平成 年 月 日

「脳卒中治療の連携と障害予防に関する研究」
説明者

氏名 _____
(署名または記名・押印)

私は、「脳卒中治療の連携と障害予防に関する研究」（主任研究者 小川 彰）に関して、その目的、内容、利益及び不利益を含む下記の事項について説明文書を用いて説明を受け、理解しました。

また、同意した後であっても、いつでも同意を撤回できること、そのことによって何ら不利益を生じないこと、疑問があればいつでも質問できることについても説明を受け納得しました。

つきましては、私自身の自由意思により研究への協力を同意します。

- ・研究への協力の任意性と撤回の自由
- ・研究目的および内容
- ・入院中に行う調査の方法
- ・退院後に行う調査の方法
- ・研究参加者にもたらされる利益および不利益
- ・研究の倫理的配慮
- ・個人情報の保護に関すること

平成 年 月 日

氏 名 _____

代諾者 _____

続 柄 () (署名または記名・押印)

『脳卒中治療の連携と障害予防に関する研究』調査の目的と内容

目的

本研究は、地域における基幹病院とリハビリ施設などとの連携状況が、脳卒中を発症された方の退院後の状態にどう関係するのかを明らかにして、今後の治療法の改善やあるべき連携状況の確立に役立てようとするものです。

調査内容

脳卒中で入院された方で同意を頂いた方のデータ（氏名、住所、病歴、症状、生活習慣、検査値、治療内容）について、簡単な聞き取りと診療録から登録票に記入して保存します。今後（退院後）、診療機関（転院先を含む）を対象に入院・通院状況の調査、市町村を対象に住民情報・介護情報の調査を行って入院中のデータとの関連性を検討いたします。

退院後の調査では患者様に直接問い合わせることはありません。また、ご自宅に電話や訪問をすることもありません。ただし将来、必要に応じて、いくつかの簡単なお尋ねを郵便ですることがあります。

（説明文書から目的および調査内容のみ再掲）

同意取得時調査事項

◎既往歴（医師に言われたことがある）について

1. 高血圧 （ あり なし 不明 ）
2. 糖尿病 （ あり なし 不明 ）
3. 高脂血症 （ あり なし 不明 ）
4. 心筋梗塞・狭心症 （ あり なし 不明 ）
5. 脳卒中 （ あり なし 不明 ）
6. 腎臓病 （ あり なし 不明 ）
7. 足の血管が狭い （ あり なし 不明 ）

飲酒量の目安（1合相当量）

- | | |
|-------|-----------------|
| ビール | 中ビン1本（500ml） |
| | …大ビン1本なら1.3合 |
| | 350ml 缶なら0.7合 |
| 焼酎 | コップ半分（100ml） |
| | …お湯割ならコップ1杯 |
| ウイスキー | ダブル1杯（60ml） |
| ワイン | ワイングラス2杯（200ml） |
| | …普通のコップなら1杯 |

◎入院前の生活習慣について

8. 喫煙 （ あり・1日____本 ____年前にやめた 喫煙なし 不明 ）
9. 飲酒 （ 毎日____合 機会飲酒 ____年前にやめた 飲酒なし 不明 ）

※週に5日以上飲んでいた場合は毎日として下さい。合は整数で記入して下さい。
※週に4日以下で1日平均では1合に満たない場合は「機会飲酒」として下さい。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇 病院ご担当様

厚生労働科学研究「介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が運動機能障害予防に及ぼす影響に関する大規模研究」
主任研究者 小川 彰（岩手医科大学 学長）

F I M照会状

厚生労働科学研究「介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が運動機能障害予防に及ぼす影響に関する大規模研究」にはご理解とご協力を頂きありがとうございます。

貴院に転院されました 〇〇〇〇 様（男）女 〇〇 歳）につきましては、岩手医科大学附属病院において研究の趣旨説明を行い、今後の医療機関における情報の取得についての同意を文書にて得ております。つきましては、この方の予後の機能評価として貴院入院後初回のF I Mおよび退院（もしくは他院転院）直近のF I Mの各項目について、同封しました調査票にてお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

なお、お送り頂きました個人情報下記事務局内データ管理室内に厳重に保管し、第三者への開示は行いません。また、研究上の解析や評価は全て匿名化して行いますことを申し添えます。

本調査に関しましてご不明の点がありましたら研究事務局までお問い合わせ願います。

研究事務局： 盛岡市内丸 19-1 岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座
担当 小野田敏行、新里朋子
電話 019-651-5111 内線 3373
FAX 019-623-8870
e-mail onodat@iwate-med.ac.jp

FIM評価票		日付・評価者	H / .	点	コメント	評価内容
運動項目		評価項目				
	セルフケア	食事				そしやく、嚥下を含めた食事動作
		整容				口腔ケア、整容、手洗い、洗顔など
		清拭				風呂、シャワー、などで首から下（背中以外）を洗う
		更衣・上半身				腰より上の更衣および義肢装具の装着
		更衣・下半身				腰より下の更衣および義肢装具の装着
		トイレ動作				衣服の着脱、排泄後の清潔、生理用具の使用
	排泄	排尿管理				排尿の管理、器具や薬剤の使用を含む
	コントロール	排便管理				排便の管理、器具や薬剤の使用を含む
	移乗	ベッド・椅子・車椅子				それぞれの間の移乗、起立動作を含む
		トイレ				便器へ（から）の移乗
		浴槽・シャワー				浴槽、シャワー室へ（から）の移乗
	移動	歩行・車椅子				屋内での歩行・車椅子移動
		主な移動手段		<input type="checkbox"/> 歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子		
		階段				12-14段の階段昇降
	認知	理解				聴覚または視覚によるコミュニケーションの理解
		表出				言語的または非言語的表現
	社会的認知	社会的交流				他患、スタッフなどとの交流、社会的状況への順応
		問題解決				日常生活上での問題解決、適切な判断能力
		記憶				日常生活に必要な情報の記憶
		合計点				

採点基準	運動項目		採点基準	認知項目	
	介助者	手出し		介助者	手出し
7：完全自立	不要	不要			
6：修正自立	不要	不要			
5：監視・準備	必要	不要	5：監視・準備	必要	監視、指示、促し
4：最小介助	必要	必要	4：最小介助	必要	90%より多く自分で行う
3：中等度介助	必要	必要			75%以上、90%以下自分で行う
2：最大介助	必要	必要			
1：全介助	必要	必要			

名前 [Redacted]

入棟日 平成19年12月7日

FIM評価

評価日 平成19年12月7日

採点 85

InOutMasterに戻る

食事	◎7	○6	○5	○4	○3	○2	○1
整容	○7	○6	◎5	○4	○3	○2	○1
清拭	○7	○6	○5	○4	◎3	○2	○1
更衣・上半身	○7	○6	○5	○4	○3	◎2	○1
更衣・下半身	○7	◎6	○5	○4	○3	○2	○1
トイレ動作	○7	◎6	○5	○4	○3	○2	○1
排尿管理	◎7	○6	○5	○4	○3	○2	○1
排便管理	◎7	○6	○5	○4	○3	○2	○1
移乗:ベッド・椅子・車椅子	○7	◎6	○5	○4	○3	○2	○1
移乗:トイレ	○7	◎6	○5	○4	○3	○2	○1
移乗:シャワー・浴槽	○7	○6	○5	○4	◎3	○2	○1
移動:歩行・車椅子	○7	○6	◎5	○4	○3	○2	○1
階段	○7	○6	○5	○4	○3	○2	◎1
コミュニケーション:理解	○7	○6	○5	◎4	○3	○2	○1
コミュニケーション:表出	○7	○6	○5	◎4	○3	○2	○1
社会的交流	◎7	○6	○5	○4	○3	○2	○1
問題解決	○7	○6	○5	○4	◎3	○2	○1
記憶	○7	○6	○5	○4	◎3	○2	○1

最高点:126点
 最低点: 18点
 7:完全自立
 6:修正自立
 時間がかかる
 5:監視・準備
 指示、促し
 4:最小介助
 75%以上自立
 3:中等度介助
 50-75%自立
 2:最大介助
 25-50%自立
 1:全介助
 25%以下自立

FIM参照ファイルへ

F I M 採点方法

A・食事

食事が適切に用意された状態で、適当な食器を使って食べ物を口に運ぶ動作から咀嚼し、嚥下するまで

<介助者なし>	
7点：完全自立	食事が一人でできる。
6点：修正自立	自分で自助具を準備、時間がかかっても一人で食事が出る。
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	食べる為に準備してもらう。(キザミ食・トロメリン・蓋をとる・エプロンをつける)
4点：最小介助	食べやすいように集めてもらう・皿を移動してもらう
3点：中等度介助	食事動作の半分以上は一人で出来る。
2点：最大介助	食事動作の半分以上は介助が必要。
1点：全介助	全て介助が必要(経管栄養も含む)

B・整容

口腔ケア・整髪・手洗い・洗顔・髭剃り・又は化粧

<介助者なし>	
7点：完全自立	整容動作の全てが一人で出来る。
6点：修正自立	時間がかかるが一人で出来る。
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	準備すれば一人で出来る(歯ブラシに歯磨き粉をつける等)
4点：最小介助	整容動作の中の一部介助が必要(ブラッシングができて、うがいは介助が必要など)
3点：中等度介助	整容動作の半分以上が一人で出来る。
2点：最大介助	整容動作の半分以上は介助が必要。
1点：全介助	全て介助が必要

C・清拭

首から下(背中とは含まない)の洗い方(シャワー浴・清拭のいずれでもかまわない)

<介助者なし>	
7点：完全自立	入浴動作が自立している。
6点：修正自立	補装具・自助具・手すり・滑り止めマットで時間がかかるが出来る。
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	入浴動作は可能だが、監視と促し、及び準備のいずれかが必要。
4点：最小介助	ほぼ洗えるが、お湯賭け、支え、タオル絞りが必要。
3点：中等度介助	半分以上洗えるが拭くことができない。
2点：最大介助	洗う・すすぐ・拭く動作の半分以上の介助が必要。
1点：全介助	動作の全てがほぼ全介助・洗い直しが必要。

D・更衣(上半身)

腰より上の更衣(準備・着脱・後始末)

<介助者なし>	
7点：完全自立	更衣動作が自立している。
6点：修正自立	補装具が必要。独自で着脱可能(健常者の3倍15分以内を要す)
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	動作は自立していても着脱のための準備や口頭指示が必要。
4点：最小介助	一部介助が必要(ボタンかけ・衣服の修正・片袖を通す)
3点：中等度介助	半分以上着脱ができる。
2点：最大介助	半分以上の介助が必要。
1点：全介助	全介助・促しても一日中更衣しない。

E・更衣（下半身）

腰より下の更衣（靴・靴下の着脱も含む）

<介助者なし>	
7点：完全自立	着脱が自立している。オムツをしているが着脱は自立（15分以内を要す）
6点：修正自立	補装具必要。独自で着脱可能（15分以内を要す）
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	着脱動作は自立しているが、準備や口頭指示・監視のいずれかが必要。
4点：最小介助	ほぼ自立しているが、着脱の乱れ介助要する。片足の足首まで介助必要。
3点：中等度介助	半分以上可能。または靴・靴下のみ介助必要。
2点：最大介助	半分以上の介助が必要。ズボンを膝まで通してもらえば自分で着脱可能。
1点：全介助	全介助

F・トイレ動作

服の上げ下ろし・会陰部の清潔（その他は移動・トイレ移乗で評価）

<介助者なし>	
7点：完全自立	自分でバランスをとり、衣服の上げ下げ、後始末が出来る。
6点：修正自立	バランスをとるために、手すりか装具が必要。時間を要するが自立。
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	自助具・ナプキン・ペーパーの準備が必要。監視要するが動作は自分で出来る。
4点：最小介助	軽く身体を支える必要がある。
3点：中等度介助	衣服の上げ・下げ・後始末の3項目のうち、1項目だけ介助
2点：最大介助	衣服の上げ・下げ・後始末の3項目のうち、2項目またはすべてを介助。
1点：全介助	昼夜のいずれかに全介助。

G・排尿コントロール

排尿コントロールに必要な器具や薬剤の使用を含む

<介助者なし>	
7点：完全自立	失敗しない。
6点：修正自立	オムツ・尿器など自分で使用できる。衣服の汚しがない。
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	独自採尿可能だが、準備・後始末が必要。
4点：最小介助	失禁・失敗時々ある。日中トイレで自立だが、夜間尿器・ポータブルトイレ使用。
3点：中等度介助	失禁・失敗が一日に1回未満。
2点：最大介助	毎夜失禁・失敗。安楽尿器など使用。
1点：全介助	毎回失禁・失敗。パルーン留置中。

H・排便コントロール

排便動作介助量と失敗の程度の2つを評価。コントロールに必要な器具・薬剤の使用含む。

<介助者なし>	
7点：完全自立	完全かつ随意的に排便をコントロールし、決して失禁しない。
6点：修正自立	物品や薬剤を自分で使用。便失禁があるが自分で後始末可。
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	坐薬・浣腸を包装から出してもらう。失敗が月に1回未満。ポータブル自分で準備。
4点：最小介助	失敗が週に1回未満
3点：中等度介助	失敗が1日に1回未満。排便動作が半分以上できる。
2点：最大介助	排便動作の半分以上は介助が必要。
1点：全介助	全て介助要す。毎回便失禁。

I・移乗（ベッド・椅子・車椅子）

ベッド、椅子、車椅子の間での起居、移乗のすべての動作を含む。

<介助者なし>	
7点：完全自立	車椅子使用者、歩行者ともに起き上がりから、手すりなしで一連の動作が全て自立。
6点：修正自立	ベッド柵、杖、手すり、装具などを使って安全に行う。
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	指示・監視が必要だが、身体に触れることがない（フットレスト・ブレーキ等の準備）
4点：最小介助	バランスを崩さないように手を添えてもらう程度の介助が必要。
3点：中等度介助	軽く引き上げてもらい移乗する。ベッドからの起き上がりが全介助で移乗が完全に自立
2点：最大介助	持ち上げて身体を回す必要がある。少しは自分の力で立っている。
1点：全介助	2人の介助が必要。全く自分の力で立てない。

J・トイレ（移乗）

トイレの脇についたところから、便器に移る事及び便器から離れるまで。日中のトイレは介助がないが夜間のポータブル等介助がある場合、介助量の多い方で評価する

<介助者なし>	
7点：完全自立	便器に通常の時間で近づき、完全に手すりなしで移乗可。
6点：修正自立	ベッド柵・杖・手すり等の補助具が自分で準備でき、トイレの移乗が安全に自立（ポータブルトイレの自立も可）
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	手すりを用いたり、車椅子のフットレスト等を動かしてもらうなどの準備や監視。監視してもらえば移乗可
4点：最小介助	身体に触れる程度の介助で移乗可
3点：中等度介助	軽く引き上げてもらう程度で移乗可。車椅子に戻るとき座るのを少し助けてもらう程度
2点：最大介助	1人の介助者に持ち上げてもらい、身体を回す必要がある。
1点：全介助	2人介助が必要（差込便器使用で便器に移乗してない場合も含む）

K・浴槽・シャワー（移乗）

浴槽の出入り・浴槽内の立ち上がりの全ての動作（浴槽の入り口だけでなく、浴槽周囲から始める）

<介助者なし>	
7点：完全自立	移乗の全てが安全に手すりなしで通常の時間内に出来る。
6点：修正自立	ボード・リフト・手すり・シャワー椅子等補助具必要だが、自分で準備し浴槽への移乗が完全に自立している。
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	シャワー椅子や滑り止めマットの準備は介助が必要。
4点：最小介助	浴槽での出入りで片足のみ介助が必要。浴槽から立つ時触れる程度の介助必要。
3点：中等度介助	浴槽での出入りで両足の介助が必要。浴槽から引き上げてもらえば立ち上がりは出来る
2点：最大介助	一連の動作で引き上げてもらう必要がある。
1点：全介助	リフトで入れてもらい自分では何もしない。（本人がやれたがらない場合も含む）

L・歩行・車椅子（移動）

入棟時に車椅子でも退院までに歩行が可能と予測されるときは歩行で評価。予測出来ない時は低い方を評価する。7点は歩行のみ・6～1点は歩行又は車椅子

<介助者なし>	
7点：完全自立	歩行で安全に補助具なしで50m移動可能
6点：修正自立	装具・杖など使用し、50m歩行可能。車椅子で50m自立して移動。方向転換
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	最低50m移動するために監視・指示・促しが必要。
4点：最小介助	最低50m移動するために、手を添えてもらったり、方向転換時に触れる程度の介助要
3点：中等度介助	最低50m移動するために、支えられたり、歩行の場合足を運んだりしてもらう。
2点：最大介助	1人がどんなに介助しても15m歩行しか出来ない。まっすぐしか歩行できない
1点：全介助	1～2人介助でも歩行・車椅子で15m未満の移動しか出来ない。

M・階段

屋内の12段から14段の階段を昇降する。

<介助者なし>	
7点：完全自立	手すり、支えも使わず、少なくとも一続きの階段を安全に昇降する。
6点：修正自立	壁・手すり・杖・装具を使って少なくとも一続きの階段を昇降する。(時間がかかる)
<介助者あり>	
5点：監視又は準備	12段～14段の階段昇降が可能だが、監視・指示・促しが必要。
4点：最小介助	12段～14段の階段を介助者に、手を添えてバランスをとってもらえば可能。
3点：中等度介助	12段～14段の階段を介助者に支えてもらい、次の段に足を進めてもらえば出来る。
2点：最大介助	介助してもらえば4段の階段を昇降出来る。
1点：全介助	2人がかりの介助が必要。

N・理解 (コミュニケーション)

理解方法に印をつける。同等なら両方へ印をつける。聴覚 () 視覚 ()

<促しなし><複雑な内容>	
7点：完全自立	基本的欲求・複雑な内容の理解がスムーズに出来る。補助具不要。
6点：修正自立	基本的欲求は問題ないが、複雑な内容は時間かけるとできる。補助具使用。
<促しあり><複雑な内容>	
5点：待機的介助	完全な文章レベルで基本的欲求の理解できる。促しはほとんど不要。
4点：最小介助	短文レベルでの基本的欲求はほとんどできる。少し促しは必要。
3点：中等度介助	文章・単語レベル半々で基本的欲求は半分以上理解できる。促しは半分近く必要。
2点：最大介助	単語レベルで基本的欲求の理解は半分以下。促しは半分以上必要。
1点：全介助	基本的欲求の理解はほとんど不可能。促しに反応しない。

O・表出 (コミュニケーション)

表出方法に印をつける。同等なら両方へ印をつける。音声 () 音声以外 ()

<促しなし> (基本的欲求)	
7点：完全自立	基本的欲求、複雑な内容をはっきりと流暢に表出できる。
6点：修正自立	基本的欲求、複雑な考えをほとんどの場面で表出できる。促しは不要で補助具必要。
<促しあり> (基本的欲求)	
5点：待機的介助	完全な文章レベルで基本的欲求の表出はできる。促しはほとんど不要。
4点：最小介助	短文レベルで基本的欲求の表出はできる。少しの促し必要。
3点：中等度介助	文章・単語レベル半々で基本的欲求の表出は半分程度できる。促しは半分近く必要。
2点：最大介助	単語レベルで基本的欲求の表出は少し出来る。ほとんど促しが必要。
1点：全介助	基本的欲求はほとんど表出できない。促しに反応しない。

P・社会的交流

他人に迷惑をかけずに交流できるかどうか評価。怒りっぽさのような陽性症状から閉じこもりなどの陰性症状

<介助者なし>	
7点：完全自立	スタッフ・他の患者そして家族と適切に交流する。
6点：修正自立	ほとんどの場面ではスタッフ・他の患者そして家族と適切に交流する。(薬物使用)
<介助者あり>	
5点：監視	慣れている場面で適切に交流できる。慣れていないと問題がある。
4点：最小介助	慣れている場面でも問題がある。
3点：中等度介助	マン・ツー・マンの場合は問題ない。周囲と交流せずじっと黙っている。
2点：最大介助	マン・ツー・マンの場合でも問題がある。非協力的、訓練拒否が多い。
1点：全介助	常時監視必要。抑制が必要なこともある。日中問題なしでも夜間せん妄(周囲迷惑)

Q・問題解決

日常生活上の問題解決に関連した技能、状況判断能力を評価

<介助者なし>	
7点：完全自立	問題を認識し、適切な判断をくだし実行する。誤りは自分で修正する。
6点：修正自立	ほとんどの場面で問題を認識し、適切な判断をくだし実行するが時間かかる。
<介助者あり>	
5点：監視	日常の問題は解決できるが、時に解決できない。緊張、不慣れな状況でのみ促し・監視
4点：最小介助	日常の問題を時々解決できない。
3点：中等度介助	日常の問題の半分以上は解決できない。
2点：最大介助	問題のほとんどを解決できない。日常の活動を開始するのに指示が必要
1点：全介助	日常の問題を全く解決できない。

R・記憶

日常的な活動行う時の認知と記憶に関連した技能を評価（見慣れた人を認識する・日常行うことを記憶している他人の依頼、指示を実行する）

<介助者なし>	
7点：完全自立	見慣れた人を認識し、毎日の日課を覚えている。依頼を聞き返すことなく実行する。
6点：修正自立	見慣れた人を認識し、毎日の日課や依頼を記憶するのにわずかに困難。
<介助者あり>	
5点：監視	日課表を見て忘れずに行動できる。慣れていない状況では促しが必要な時もある。
4点：最小介助	日課表を見ればほとんど1人でできるが見るのを恐れることあり4回に1回の促し要す
3点：中等度介助	日課の時間・順序についてあいまい。（半分以上は記憶あり）1つの依頼・指示はできるが、2つ以上になると繰り返しが必要。
2点：最大介助	見慣れた人の顔を認識できるが、依頼、指示にはこたえられない。1つの依頼、指示でも半分以上の時間は促しが必要。
1点：全介助	ほとんど記憶できない。依頼、指示にもこたえることができない。

Ⅲ. 研究参加施設名・組織名および研究協力者リスト

研究参加施設名・組織名および研究協力者リスト

病院施設

岩手県立中央病院

院長 佐々木崇
脳神経外科センター長 関 博文
脳神経外科長 菅原孝行
神経内科長 高橋弘明
事務局長 吉田廣光
医事課長 鎌田隆一

盛岡赤十字病院

院長 沼里 進
脳神経外科部長 久保直彦
リハビリテーション科部長 木戸口順
神経内科部長 野崎有一
事務部長 佐々木利雄

岩手医科大学付属病院

院長 鈴木一幸

岩手県立二戸病院

院長 佐藤元昭
事務局長 照井善次
医事課長 山本康典

岩手県立久慈病院

院長 阿部 正
事務局長 高橋 仁
医事課長 松舘 隆

岩手県立一戸病院

院長 高田 耕
事務局長 菅原文芳
医事課長 小原鉄男

岩手県立軽米病院

院長 横島孝雄
事務局長 東山 昭
医事課長 中村善一

岩手県立宮古病院

院長 菅野千治

事務局長 八木善一

医事課長 菊池好徳

九戸地域診療センター

センター長 佐藤元昭

事務局長 藤川忠己

医事課 斉藤恭子

岩手県立山田病院

院長 及川修次

事務局長 小林岩松

済生会岩泉病院

院長 柴野良博

事務局長 佐々木嘉彦

国民健康保険種市病院

院長 漆久保潔

事務局長 苧坪健一

財団法人いわてリハビリテーションセンター

センター長 高橋 明

栃内第二病院

院長 栃内秀彦

東八幡平病院

院長 及川忠人

南昌病院

院長 木村宗孝

盛岡繋温泉病院

院長 小西一樹

川久保病院

院長 尾形文智

萩野病院

院長 萩野忠良

保健所

二戸保健所、久慈保健所

所長 生田孝雄

宮古保健所

所長

工藤淳子

市町村

二戸市、一戸町、軽米町、九戸村、久慈市、洋野町、野田村、普代村、
宮古市、山田町、岩泉町、川井村、田野畑村

リサーチナーズ

岩手県立二戸病院担当

篠崎悦子、小野洋子

岩手県立久慈病院担当

宇部ヤス子、藤森昭子

岩手県立中央病院担当

木戸口隆子、長澤郁子、平尾直美、工藤早由美

盛岡赤十字病院担当

狐崎妙子、中嶋京子、西本亜矢

岩手医科大学付属病院担当

増田妙子、井上弘子、遠藤愛子

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

学会発表

Kozo Tanno, Masaki Ohsawa, Kazuyoshi Itai, Toshiyuki Onoda, Kiyomi Sakata, Motoyuki Nakamura, Toru Kiribayashi, Akira Okayama.

Self-rated health is significantly associated with B-type natriuretic peptide levels in men and is associated with creatinine protein levels in women among 17,571 Japanese adults.

Joint Conference -48th Cardiovascular Disease Epidemiology and Prevention -and- Nutrition, Physical Activity and Metabolism -2008

March 11-15, 2008. The Broadmoor Hotel, Colorado Springs, Colorado, USA.

発表論文

Masaki Ohsawa, Kazuyoshi Itai, Toshiyuki Onoda, Kozo Tanno, Satoshi Sasaki, Motoyuki Nakamura, Akira Ogawa, Kiyomi Sakata, Kazuko Kawamura, Toru Kuribayashi, Yuki Yoshida, Akira Okayama.

Dietary intake of n-3 polyunsaturated fatty acids is inversely associated with CRP levels, especially among male smokers.

Atherosclerosis. in press.